



## 『西原町史』第八巻・資料編七 「西原の言語」の紹介①

『西原町史』第八巻・資料編七「西原の言語」が発刊されて、一か月が経ちました。町内外から大きな反響をいただいています。この機会にぜひ「西原の言語」を手に取り、西原のシマクトウバ（方言）に触れてみませんか？

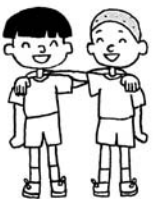
さて、今回は「西原の言語」のなかから、「人間関係」に関する方言を一部だけ紹介いたします。

**ウィキー** 女である自分から見た男の兄弟。年の上下は関係ありません。自分から見て、兄であっても弟であっても**ウィキー**と言います。

**クビチリドウシ** 大の親友。刎頸ひなげいの

友。中国の故事

にならって成語化したものとかえられます。



**サトウ** 女から見た男の恋人のこと。

琉歌などに出てくる文語的な言葉です。反対に、男から見た女の恋人は**ンジョ**と言います。例**サトウ**、**メー**、**イチマディン**、**ワークトウ**

**ウムティ**

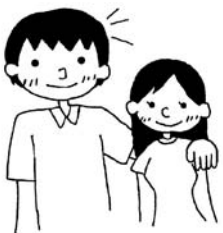
**クイミソリー**

**ヨー**（恋人よ、

いつまでも私

のことを思っ

てくださいね）。



**ニンジン** 人間。「にんげん」に対応する語です。現代日本語の漢語

で「げ」の音は、沖繩のことばで

多く「ジ」で現われます。げいの

う（芸能）↓**ジヌー**。げち（下

知）↓**ジチ**。

**ワラビナー** 子どものときの名前。

童名。士族の元服のときの**ナヌイ**

（名乗り）に対する名前。例**ワラ**

**ビナーヤタルンディイチヨー**

**タン**（童名は太郎といっていた）。

### お知らせ！

『西原町史』第八巻・資料編七「西原の言語」は、町教育委員会生涯学習課にてお求めになります。販売価格は、1冊1500円です。